

「00年を迎えるまで絶好調であったカメラフィルムの世界需要は、その年を境に最盛期の半分まで急激に減少していき、原因はデジタルカメラへの転換が急速に進んだことによります。この時の「ある技術」とはデジタルカメラですが、もう一つの「ある技術」とは急速に普及し始めたパソコンでした。両者の距離感

■「技術の補完性」  
今回は、1月22日の日経新聞に掲載された技術経営論を専門とする柴田友厚学習院大学教授のコラム「技術の補完性」を参考に話をしたいと思います。

同教授のテーマは「技術体系の転換過程をどのようにマネジメントするのか」というものですが、そのポイントは「急速な転換を引き起こすものは、ある技術とある技術の補完性が生み出す力である。そのような場合、両者の間に相互に促進し合う循環サイクルが形成され、それが閾値（変化を起こすために必要な刺激の最小値）を超えると急速に価値が高まる」という部分にあると私は感じました。

また、同教授は「急速な転換を引き起こすものとはどういうことか、また閾値を超えると急速に価値が高まるとは何を言っているのか」を、12年のコダック社の破綻を例に出して説明しています。

■「コダック社の失敗」  
00年を迎えるまで絶好調であったカメラフィルムの世界需要は、その年を境に最盛期の半分まで急激に減少していき、原因はデジタルカメラへの転換が急速に進んだことによります。この時の「ある技術」とはデジタルカメラですが、もう一つの「ある技術」とは急速に普及し始めたパソコンでした。両者の距離感

■「急がば回れ」  
もう少し分かりやすいところで「ふるさと納税」を例に考えてみます。

■「政策の補完性」  
私はこのコラムを読んだとき、その視点と姿勢は行政における政策立案でも全く同じだと思いました。この「技術の補完性」を行政に置き換えるとするならば、それは「政策の補完性」と言い表すことができると思います。

よく私たちは、業務の縦割りを排し横断的に取り組まなければならないと言いますが、それだつて「政策の補完性」の必要性を述べているのだと思います。例えば、先月の広報に書いた私のコラム「子育てと教育、そして経済」にしても、子育てと教育の補完性が生み出す好循環サイクルの可能性について述べさせていたのだと思います。

■「急がば回れ」  
もう少し分かりやすいところで「ふるさと納税」を例に考えてみます。



にかほ市長  
市川雄次

今年度のかほ市のふるさと納税額は6億円超となっております。私は、ふるさと納税は制度だけを見て取り組んでもなかなか伸びないだろうと思っていました。むしろ、シティセールス、シティブロモーションを軸にふるさと納税が補完する側になった方が効果が期待される。つまり、ただ単に商品売り込むというスタンスだけでなく、にかほ市の魅力を発信しながら知名度を上げ、多くの人に関心を持ってもらうための取り組みを、同時かつ優先して行うべきだと考えました。急がば回れです。

いったんこの好循環サイクルが回りだすと、ふるさと納税額が飛躍的に伸びただけでなく、「住みたい田舎ランキング」（宝島社）や「住みよきランキング」（東洋経済新報社）といった全国の魅力度を測るランキング企画でも、にかほ市は常に高く評価されるようになりました。これがまさに「政策の補完性」なんだと思います。

# 政策の補完性



にかほ  
biz  
まるっと!  
vol.23

## 株式会社三光メディケア ハルモニア・にかほ

■「ライフスタイルに応じた働きやすい職場です」  
介護、医療サポートから快適生活まで  
私たちの施設では、訪問型から施設入居型のサービスまで6種類のサービスを提供しています。介護職を始め、看護師や機能訓練指導員などさまざまな職種スタッフが連携を図りながら、利用者が快適に過ごせるようにサポートを行っています。

利用者それぞれの個性に応じて接する必要があり大変なこともあります。が、「ありがとう」と言ってもらえることや、ご家族の方から感謝の言葉をいただいた時はとても嬉しくてやりがいを感じます。また、リハビリテーションに一生懸命取り組み姿などには日々刺激を受け、自分も一緒に頑張ろうという気持ちになります。

職場環境は、若くて明るい人が多いです。チームワークが良く、分らないことも丁寧に教えてもらえるので安心して働くことができます。施設では職員のスキルアップに力を入れていて、各種研修への積極的な参加を後押ししてくれるので、働きながら自分を成長させていくことができます。また、その人のライフスタイルに応じた幅広い雇用形態があり、子育て中の方など男女問わずとても働きやすい環境となっております。

私たちと一緒に利用者とそのご家族に、より良い介護サービスと共に快適な生活を提供していきましょう。

**企業情報**

自然豊かな環境と街並みの利便性を併せ持つたふるさとで、歳を重ねても安心な生活ができることを目指し、「ハルモニア」は平成26年に発足しました。在宅生活希望者への訪問サービスと施設入居希望者の満足のため、6種類のサービスを揃えた24時間体制のサービス提供は、秋田県では最初の事業所となります。高齢化、独居、健康悪化などの不安を笑顔の「私たち」が支えます。※「ハルモニア」はギリシャ語で「調和」を意味します。

- 所在地 にかほ市院内字嶋田 42-1
- 事業内容 総合介護福祉施設ハルモニア(デイサービス、定期巡回、訪問看護、複合型サービス、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援等)
- 事業所 にかほ市・由利本荘市
- 従業員数 55人(男16人・女39人)
- 電話 0184-44-8535
- メール info@harmonia-nikaho.com
- ホームページ https://harmonia-nikaho.com/

「にかほbizまるっと！」に掲載する事業所を募集しています！  
若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介します。申し込みは商工政策課(☎43-7600)まで！

